

◆ 令和6年度租税滞納状況の概要

Q : 令和6年の租税滞納状況が公表されたようですが、どんな内容でしたか？

A : 次のような内容でした。

【解説】

さきごろ、国税庁から、「令和6年度租税滞納状況の概要」が公表されました。

① 令和6年度租税滞納状況の概要

納税に対する誠実な意思が認められない滞納者に対しては、財産の差押え等の滞納処分を厳正かつ的確に実施することにより滞納国税を徴収する一方、納税の猶予等の法令の要件に該当する滞納者に対しては、納税緩和措置を適用するなど、適切に滞納整理に取り組んだ結果、令和6年度末の滞納整理中のものの額は9,714億円となりました。この金額は、平成10年度のピーク時2兆8,149億円の約3割です。

② 新規発生滞納額

新規発生滞納額は9,925億円で、令和5年度と比較すると、1,928億円(24.1%)の増加となっています。なお、新規発生滞納額は、平成4年度のピーク時1兆8,903億円の約5割となっています。

③ 滞納発生割合

滞納発生割合は、1.2%でした。滞納発生割合とは、徴収決定済額(申告などにより課税されたものの額)に占める新規発生滞納額の割合をいいます。

④ 整理済額

整理済額は9,488億円で、令和5年度と比較すると、1,818億円(+23.7%)の増加となっています。

